

## 第94回 簿記実務検定第1級試験問題

会計

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当座預金	定期預金	売買目的有価証券
備	品	備品減価償却累計額	満期保有目的債券	子会社株式
支払手形		保証債務	未払社債	社債
資本金		資本準備金	その他資本剰余金	減債積立金
繰越利益剰余金		自己株式	有価証券利息	仕入割引
有価証券売却益		保証債務取崩益	支払手数料	支払利息
社債利息		保証債務費用	固定資産売却損	固定資産除却損
子会社株式評価損				

- a. かねて、取引銀行で割り引いていた北海道商店振り出しの約束手形  $\yen 750,000$  が期日に決済されたとの通知を受けた。なお、この手形を割り引いたさいに、手形額面金額の2%の保証債務を計上している。
- b. 和歌山産業株式会社は、社債  $\yen 83,000,000$  が満期となったので、定期預金で償還した。なお、取締役会の決議により、減債積立金  $\yen 83,000,000$  を取り崩した。
- c. 新潟商事株式会社(決算年/回)は、取得原価  $\yen 1,250,000$  の備品を第2/期初頭に除却し、廃棄処分した。ただし、この備品は第8期初頭に買入れたもので、定率法により毎期の償却率を40%として減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、この備品の評価額は零(0)である。
- d. 福井商事株式会社は、自己株式(1株の帳簿価額  $\yen 650$ )のうち8,000株を1株につき  $\yen 700$  で処分し、受け取った代金は当座預金とした。
- e. 満期まで保有する目的で、富山物産株式会社の額面  $\yen 8,000,000$  の社債を、額面  $\yen 100$  につき  $\yen 96.50$  で買入れ、代金は買入手数料  $\yen 16,000$  および端数利息  $\yen 20,000$  とともに小切手を振り出して支払った。
- f. 石川商事株式会社は、実質的に支配している東西商事株式会社の財政状態が悪化したので、保有する同社の株式400株(帳簿価額  $\yen 18,400,000$ )を実質価額によって評価替えした。なお、東西商事株式会社の資産総額は  $\yen 69,000,000$  負債総額は  $\yen 57,000,000$  で、発行済株式数は600株であり、市場価格のない株式である。
- g. 北東商事株式会社は、株主総会の決議によって資本金  $\yen 5,000,000$  を減少して、その他資本剰余金を同額増加させたうえで、繰越利益剰余金勘定の借方残高  $\yen 5,000,000$  をてん補した。

**2**

次の各問いに答えなさい。

(1) A社の下記の資料によって、

① (ア) から (キ) に入る金額または比率を求めなさい。

② 次の各文の  のなかに入る比率または日数を求めなさい。また、{  } のなかから、いずれか適当な語を選び、その番号を記入しなさい。

収益性を調べるため、売上高経常利益率を計算すると、第/7期は8.8%であり、第/8期は  % である。このことから、第/8期の業績は/7期よりケ { 1. 良く 2. 悪く } になっていることがわかる。

また、商品の販売効率を判断するため、商品回転率を商品有高の平均と売上原価を用いて計算し、商品平均在庫日数を求めると第/7期は  日であり、第/8期は25.0日である。このことから判断すると、第/8期の販売効率は/7期よりサ { 1. 良く 2. 悪く } になっていることがわかる。

資料

i 第/8期における純資産の部に関する事項

6月25日 株主総会において、次のとおり繰越利益剰余金を配当および処分することを決議した。

利益準備金 会社法による額 配当金 1,400千円 新築積立金 80千円

ii 株主資本等変動計算書

(第/8期) 株主資本等変動計算書

A社 令和3年4月/日から令和4年3月3/日まで (単位：千円)

	資本金	資本剰余金		利益剰余金				純資産合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
					新築積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	6,000	600	600	800	520	2,080	3,400	10,000
当期変動額								
剰余金の配当				( )		( )	( )	( )
新築積立金の積立					( )	△ 80	—	—
当期純利益						( )	( )	( )
当期変動額合計	—	—	—	( )	( )	( 1 )	( )	( )
当期末残高	6,000	600	600	(ア)	( )	( )	( )	11,000

iii 損益計算書

(第/7期) 損益計算書	
A社 令和2年4月/日から令和3年3月3/日まで (単位：千円)	
I 売上高	24,000
II 売上原価	15,600
売上総利益	8,400
III 販売費及び一般管理費	6,000
営業利益	2,400
IV 営業外費用	288
経常利益	2,112
V 特別損失	52
税引前当期純利益	2,060
法人税・住民税及び事業税	620
当期純利益	1,440

(第/8期) 損益計算書	
A社 令和3年4月/日から令和4年3月3/日まで (単位：千円)	
I 売上高	30,000
II 売上原価	19,710
売上総利益	10,290
III 販売費及び一般管理費	(ウ)
営業利益	( )
IV 営業外費用	150
経常利益	3,450
V 特別損失	20
税引前当期純利益	( )
法人税・住民税及び事業税	1,030
当期純利益	( )

iv 財務比率

	第/7期	第/8期
売上原価率	(エ) %	65.7 %
売上高純利益率	6.0 %	(オ) %
売上高成長率	20.0 %	(カ) %
受取勘定回転率	9.6 回	(キ) 回

※期首と期末の平均値による。

v 売上債権および商品の金額 (単位：千円)

	第/7期首	第/7期末	第/8期末
売上債権 (受取勘定)	3,000	2,000	4,000
商品	1,730	1,390	1,310

vi 第/6期の売上高 20,000千円

- (2) 滋賀商事株式会社の決算日における当座預金出納帳の残高は ¥510,000 であり、銀行が発行した当座勘定残高証明書の金額は ¥1,220,000 であった。そこで、不一致の原因を調査したところ、次の資料を得た。よって、当座預金出納帳の次月繰越高を求めなさい。

資 料

- i 仕入代金の支払いのために小切手 ¥200,000 を作成して記帳していたが、まだ仕入先に渡していなかった。
- ii 三重商店あてに買掛金の支払いとして振り出した小切手 ¥250,000 が、銀行でまだ支払われていなかった。なお、この小切手を振り出したさいに会計係が誤って ¥520,000 と記帳していた。
- iii 当月分の電話代 ¥10,000 が当座預金口座から引き落とされていたが、当社ではまだ記帳していなかった。

- (3) 次の資料により、令和4年3月31日（連結決算日）における連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書および連結貸借対照表を作成しなさい。

資 料

- i 令和4年3月31日における個別財務諸表

損益計算書			損益計算書		
P社	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:千円)		S社	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:千円)	
売上原価	100,800	売上高	127,600	売上原価	40,500
給料	22,280	受取利息	600	給料	12,470
支払利息	320	受取配当金	800	支払利息	30
当期純利益	5,600			当期純利益	3,000
	129,000		129,000		56,000
					56,000

株主資本等変動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位:千円)

	資本金		利益剰余金	
	P社	S社	P社	S社
当期首残高	68,000	12,400	16,900	3,600
当期変動額	剰余金の配当		△2,500	△1,000
	当期純利益		5,600	3,000
当期末残高	68,000	12,400	20,000	5,600

貸借対照表

P社	令和4年3月31日 (単位:千円)		
諸資産	77,000	諸負債	16,000
土地	11,000	資本金	68,000
子会社株式	16,000	利益剰余金	20,000
	104,000		104,000

貸借対照表

S社	令和4年3月31日 (単位:千円)		
諸資産	18,200	諸負債	8,000
土地	7,800	資本金	12,400
	26,000	利益剰余金	5,600
			26,000

- ii P社は、令和3年3月31日にS社の発行する株式の80%を16,000千円で取得し支配した。なお、S社の取得日における土地の帳簿価額は7,800千円、時価は9,800千円であり、当期中に土地の売買取引はなかった。また、他の資産および負債の時価は帳簿価額に等しかった。
- iii のれんは償却期間を20年間とし、定額法により償却する。
- iv P社、S社間の債権・債務の取引や資産の売買はなかった。

3

次の各文の  にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- a. 財務諸表は、利害関係者が企業の財政状態および経営成績を正しく判断できるように、必要な会計事実を明瞭に表示しなければならない。これを  ア の原則という。これによると、貸付金 ¥800,000 と  イ ¥500,000 を相殺して貸付金 ¥300,000 として表示することは認められない。
- b. 固定資産の通常の維持・管理および原状を回復させるための支出では、その支出が生じた会計期間の費用として修繕費勘定に計上する。これを  ウ という。例えば、修繕費として計上すべき支出額を、建物として計上するなど、その区分を誤ると一会計期間における正しい  エ をおこなうことができなくなるため、非常に重要である。

- |          |          |        |          |
|----------|----------|--------|----------|
| 1. 損益計算  | 2. 明瞭性   | 3. 継続性 | 4. 売価還元法 |
| 5. 資本的支出 | 6. 売掛金   | 7. 前払金 | 8. 借入金   |
| 9. 収益的支出 | 10. 保守主義 |        |          |

4

兵庫商事株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項によって、

- (1) 報告式の貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 報告式の損益計算書（営業利益まで）を完成しなさい。
- (3) 損益計算書に記載する当期純利益を求めなさい。  
ただし、
  - i 会社計算規則によること。
  - ii 会計期間は令和3年4月/日から令和4年3月3/日までとする。
  - iii 取引銀行は京都銀行と大阪銀行であり、両銀行とも当座借越契約を結んでいる。

元帳勘定残高

現金	¥ 662,000	当座預金	¥ 2,414,000	受取手形	¥ 1,100,000
売掛金	3,000,000	貸倒引当金	15,000	売買目的有価証券	2,259,000
繰越商品	2,989,000	仮払法人税等	740,000	建物	5,130,000
建物減価償却累計額	684,000	備品	2,880,000	備品減価償却累計額	720,000
土地	7,164,000	その他有価証券	5,832,000	支払手形	1,377,000
買掛金	2,869,000	借入金	2,250,000	当座借越	120,000
退職給付引当金	1,269,000	資本金	15,300,000	資本準備金	1,080,000
利益準備金	472,000	別途積立金	360,000	繰越利益剰余金	439,000
売上	68,985,000	受取地代	192,000	受取配当金	130,000
固定資産売却益	200,000	仕入	50,274,000	給料	8,400,000
広告料	983,000	発送費	1,510,000	保険料	477,000
消耗品費	141,000	租税公課	185,000	雑費	29,000
支払利息	122,000	手形売却損	45,000	固定資産除却損	126,000

付記事項

- ① 売掛金 ¥300,000 が大阪銀行の当座預金口座に振り込まれていたが、未記帳であった。なお、当座預金勘定残高 ¥2,414,000 は京都銀行のものであり、当座借越勘定残高 ¥120,000 は大阪銀行のものである。
- ② 借入金 ¥2,250,000 の返済期限は、令和4年7月31日までのものが ¥450,000 であり、令和6年9月30日までのものが ¥1,800,000 である。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高
 

	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	原価	正味売却価額
A 品	1,400個	1,300個	@ ¥950	@ ¥1,320
B 品	1,500〃	1,400〃	〃〃 830	〃〃 750

 ただし、棚卸減耗損（棚卸減耗費）および商品評価損は売上原価の内訳項目とする。
- b. 貸倒見積高
 

受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 有価証券評価高
 

保有する株式は次のとおりである。

売買目的有価証券	：西南株式会社	300株	時価	1株	¥ 6,840
その他有価証券	：奈良株式会社	100株	時価	1株	¥ 59,130
- d. 減価償却高
 

建物：取得原価 ¥5,130,000 残存価額は零(0) 耐用年数は30年とし、定額法により計算している。

備品：取得原価 ¥2,880,000 毎期の償却率を25%とし、定率法により計算している。
- e. 保険料前払高
 

保険料のうち ¥297,000 は、令和3年12月/日から/年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 利息未払高
 

¥ 26,000
- g. 退職給付引当金繰入額
 

¥ 558,000
- h. 法人税・住民税及び事業税額
 

¥ 1,560,000

第94回 簿記実務検定 1級 会 計 [解答用紙]

1

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

**2**

(1)

①

ア	イ	ウ
千円	千円	千円

エ	オ	カ	キ
%	%	%	回

②

ク	ケ	コ	サ
%		日	

(2)

✂

(3)

連結損益計算書

P社	令和3年4月/日から令和4年3月3/日まで	(単位：千円)
売上原価	141,300	売上高
給料	34,750	受取利息 ( )
支払利息	350	( )
のれん償却 ( )	( )	( )
当期純利益 ( )	( )	( )
非支配株主に帰属する当期純利益 ( )	( )	当期純利益 ( )
親会社株主に帰属する当期純利益 ( )	( )	( )
( )	( )	( )

連結株主資本等変動計算書

P社	令和3年4月/日から令和4年3月3/日まで	(単位：千円)	
	資本金	利益剰余金	非支配株主持分
当期首残高	68,000	16,900	( )
当期変動額 剰余金の配当		△ 2,500	
親会社株主に帰属する当期純利益		( )	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			( )
当期末残高	68,000	( )	( )

連結貸借対照表

P社	令和4年3月3/日	(単位：千円)	
諸資産	95,200	諸負債	24,000
土地 ( )	( )	資本金 ( )	( )
のれん ( )	( )	利益剰余金 ( )	( )
( )	( )	非支配株主持分 ( )	( )
( )	( )	( )	( )

**3**

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

**2**  
 得点

**3**  
 得点

## 4

(1)

兵庫商事株式会社

## 貸借対照表

令和4年3月31日

(単位：円)

		資 産 の 部		負 債 の 部		純 資 産 の 部	
<b>I 流動資産</b>							
1.	現金預金		( )				
2.	受取手形	1,100,000					
	貸倒引当金	( )	( )				
3.	売掛金	( )	( )				
	貸倒引当金	( )	( )				
4.	( )		( )				
5.	( )		( )				
6.	( )		( )				
	流動資産合計		( )				
<b>II 固定資産</b>							
(1) 有形固定資産							
1.	建物	5,130,000					
	減価償却累計額	( )	( )				
2.	備品	2,880,000					
	減価償却累計額	( )	( )				
3.	( )		( )				
	有形固定資産合計		( )				
(2) 投資その他の資産							
1.	( )		( )				
	投資その他の資産合計		( )				
	固定資産合計		( )				
	資産合計		( )				
<b>I 流動負債</b>							
1.	支払手形		( )				
2.	買掛金		( )				
3.	( )		( )				
4.	( )		( )				
5.	( )		( )				
	流動負債合計		( )				
<b>II 固定負債</b>							
1.	( )		( )				
2.	退職給付引当金		( )				
	固定負債合計		( )				
	負債合計		( )				
<b>I 株主資本</b>							
(1)	資本金					15,300,000	
(2)	資本剰余金						
1.	資本準備金			1,080,000			
	資本剰余金合計					1,080,000	
(3)	利益剰余金						
1.	利益準備金			( )			
2.	その他利益剰余金						
①	別途積立金			( )			
②	繰越利益剰余金			( )			
	利益剰余金合計					( )	
	株主資本合計					( )	
<b>II 評価・換算差額等</b>							
1.	その他有価証券評価差額金			( )			
	評価・換算差額等合計					( )	
	純資産合計					( )	
	負債及び純資産合計					( )	

(2)

損益計算書

兵庫商事株式会社

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

I 売上高

68,985,000

II 売上原価

1. 期首商品棚卸高	2,989,000		
2. 当期商品仕入高	( )		
合計	( )		
3. 期末商品棚卸高	( )		
	( )		
4. ( )	( )		
5. ( )	( )	( )	
売上総利益		( )	

III 販売費及び一般管理費

1. 給料	8,400,000		
2. 広告料	983,000		
3. 発送費	( )		
4. ( )	( )		
5. ( )	( )		
6. ( )	( )		
7. 保険料	( )		
8. 消耗品費	141,000		
9. 租税公課	185,000		
10. ( )	( )	( )	
営業利益		( )	

(3)

✂
---

4	
得点	